

看護いばらき



No.88
2010年3月31日



六地藏のしだれ桜

CONTENTS

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| ■インタビュー…………… P.2 ～ 3 | ■寅年あつまれ…………… P.8 |
| ■ザ・シリーズ地域連携～まちの保健室 p.4 ～ 5 | ■そよかぜ；私の専門～認定看護師～…………… P.9 |
| ■看護師職能委員会ページ…………… P.5 | ■私の職場…………… P.10 |
| ■医療安全交流会を開催して…………… P.6 | ■リフレッシュタイム…………… P.11 |
| ■研修を受講して…………… P.6 ～ 7 | ■協会からのお知らせ…………… P.12 |

インタビュー

村田会長に聞く

広報委員会

協会の現状、課題について

1. 平成 21 年度現在の会員数は？

県内の入会率就業者の 50%の目標は達成されていますか。

→現在の会員数は 11650 人です。前年度よりは増加しているが、就業率も増加しており、入会率は 47%です。今後も継続して魅力ある協会にして会員数をふやしていきたいと思います。

2. 地区活動の充実について、懇談会で会員の方々と直接対話したことで良かった事を教えてください。

→総会・理事会以外で、会員の皆さんとお会いする機会がないので、活動内容が直接的に伝わりにくい現状でした。協会の情報公開の場と、会員の生の声を聞くことが協会としても大きな収穫となっています。また、理事も出席しているので共通認識が図れています。今後も、地区懇談会を継続していきたいと思います。

3. 平成 21 年度看護いばらきのなかで「ザ・シリーズ 地域連携～まちの保健室」取材しています。協会で推進しているまちの保健室について、現在常設が2ヶ所ありますが、今後増設の予定や取り組みを教えてください。

→まちの保健室は継続していく予定ですが、住民の抱えるさまざまな問題を多職種と連携して、専門職としての看護の役割を考えていきたいと思います。これからの効果的方法については今後検討していく予定です。

平成 22 年度の新たな取り組みについて聞かせてください

1. 来年度新たに取り入れる事業計画はありますか。

→公益社団法人を目指して、会員だけでなく、非会員、一般住民、他職種と連携を取って活動していこうと考えています。

新人教育研修や、キャリアアップに力を入れていきたい。

会員へのメッセージをお願いします

→看護の力を信じて前向きにキャリアアップしていただきたい。社会的評価が得られるように自分自身を高めていただきたいと思います。



看護職定着確保事業、訪問看護サポート事業

看護職員定着促進コーディネーターとは

県からの委託を受け、平成 21 年 9 月より、魅力ある職場環境支援事業がスタートしました。

看護職員定着促進コーディネーター 佐藤とし子さんにお聞きました。



コーディネーターの具体的な活動内容を教えてください。

200 床以下の看護師確保定着困難な病院が対象となります。対象病院は 132 施設あり、県内施設の約 70%にあたります。依頼を受けた施設を訪問し、勤務条件や職場環境・人材育成のための研修計画や広報活動の状況など情報を把握した上で、それぞれにあった改善点を提案させていただき、出来ることから始めていけるよう支援させて頂いています。

実働して半年ほどになりますが、施設の現状はどうですか？

茨城県は、全国でも看護師定着率ワースト3位と低く、看護師確保が難しいのが現状です。実際に 8 施設を訪問しましたが、定着できない理由がどこにあるのか調査し、すぐに改善できる点もありますが、長期に支援が必要な施設もあります。

そういった施設に対しては、定期的な訪問やメールでの相談に応じ、継続した支援を行っています。

インタビューを終えての感想

この事業は、全国でも茨城県が始めての取り組みであり、看護師確保のためには必要であると感じました。少しでも多くの施設に活用して頂き、看護師定着確保につなげていけたらと思います。お忙しいなか、インタビューにお答え頂きありがとうございました。

社団法人茨城県看護協会・茨城県ナースセンター

〒310-0034 水戸市緑町3-5-35

TEL: 029-225-8572 FAX: 029-226-0493 e-mail: t.satou@ina.or.jp

看護職員定着促進コーディネーター 佐藤とし子まで

茨城県訪問看護サポートセンターとは

①訪問看護サポートセンター事業の目的について教えてください。

訪問看護サービスの安定的な供給を維持し、最後まで安心して在宅療養ができる環境が整うように支援することを目的としています。



②訪問看護サポートセンター事業が始まってから1年経ちますが、今の活動を教えてください。

県南地域で事業が実施されており、相談調整業務をメインとしております。

訪問看護の利用についての相談を多く受けており、訪問看護の新規利用につながっております。相談業務のほかには、訪問看護ステーションや病院へ出向き、情報収集や広報活動等を行っています。

③今後の取り組みについて聞かせてください。

引き続き県南地域で事業を展開し、訪問看護ステーションへの支援活動を充実させ、今後全県的な取り組みへ発展させていくための基盤を整えていきたいと考えております。

ザ・シリーズ

地域連携～まちの保健室を通して

鉾田・潮来地区

10月17日(土)・18日(日)
かしま祭り

血圧測定、体脂肪測定、握力測定、骨密度測定、健康相談などが行われていた。

ただ測定値を伝えるだけでなく、パンフレットの配布や日常生活での工夫など一言添えて伝えており、住民の方々の笑顔と「ありがとね」の言葉にあふれていました。



深澤理事のコメント

地区の病院の協力を得て、たくさんの地域の方々に利用していただくことができました。天候に恵まれ参加者も多く、住民の皆様の健康意識が高く健康相談や質問なども多くお受けいたしました。最近ではテレビや雑誌などでも健康問題が多く取り上げられ、もっと詳しく知りたい方がたくさんいらっしゃいました。ご好評いただきありがとうございます。



住民の声

- ・ 普段から血圧測定やウォーキングを行い、健康に気をつけていますという 60 代女性。「血圧や体脂肪は自宅でもできるけど、骨密度はなかなか測れないから・・・」と、健康相談と骨密度測定の結果を聞いて満足そうな笑顔でお帰りになりました。
- ・ 血圧も標準値で今まで大病を患ってないと話す 80 代男性。骨密度の結果がよくないと聞き、健康アドバイスに真剣に耳を傾けていました。



龍ヶ崎地区

10月12日、守谷市役所にて第26回守谷市商工まつりが盛大に開催されました。商工会の出店や消防車・耐震車などが立ち並び、守谷市周辺の保健師・看護師・栄養士の皆さんに協力をいただき、生活習慣予防デー「まちの保健室」を開設しました。午前10時から1時間半程で40件以上の相談があり、大盛況で市民の皆さんが健康に深い関心を持っていることを実感しました。健康相談では肥満・食事に関心があり、体脂肪測定の希望者が多く見られました。その他、病人を抱えていらっしゃる方の介護相談や救急蘇生法の実施体験がありました。参加された方は熱心に指導を受け、レサシアンを使用し心臓マッサージを体験していました。体験者からは、「一度消防署でやったことがあるが、回数が30回と言うことは知らなかった。教えてもらって良かった。」などの満足した声を聞くことができました。今回の開催準備に当たり、健康づくりの支援をされた事業委員の皆さま、本当にお疲れ様でした。皆様の協力のおかげで、看護協会の活動や看護職について、地域の皆さまにアピールすることができたと感じました。

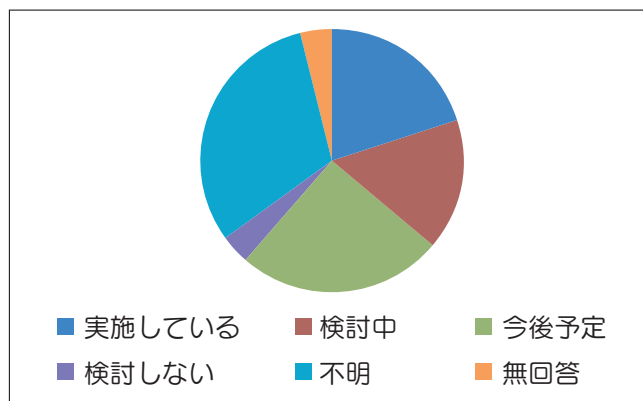


看護師職能委員会ページ

—管理者研修「暴力のリスクマネジメント」—

安全で安心な医療環境づくりを目的に、昨年11月看護管理者80名が参加し筑波大学の三木明子先生による講義・演習の2日間研修が開催されました。1日目は病院内の暴言・暴力防止に必要な知識について多くの事例をもとに講義がなされ、2日目は、暴力（身体的、言語的）発生時の対処方法の実際を、研修生の名演技力で白熱した演習となりました。参加者アンケートでは、施設での暴力対策教育の実施はまだ十分とはいえません（図参照）。今回の研修が安全で安心な職場環境整備に生かされるよう参加者の啓蒙活動に期待しております。

施設での暴力対策教育実施状況



医療安全交流会を開催して

～県内地区別施設の交流を目標に～

医療看護安全対策委員長 海老澤 幸子

各施設の医療安全管理担当者を対象に「医療安全のための体制の構築、医療安全管理者の支援」を目標に9月と1月の2回交流会を開催しました。第1回は47施設が参加しそれぞれ抱えている問題、担当者の悩み等についてグループワークが行われました。第2回は宮本副会長出席の



もと「各地区でその後活動した報告会」を開催。各グループが取り組んだ活動経過・今後の計画が発表されました。交流会を機会に担当者が困ったとき相談出来るネットワーク体制が出来つつあることは目標の一部達成と感じております。しかし活動継続には課題も多く、今後それらを考慮しつつ交流会を検討していきたいと感じました。



助産師のための超音波

助産師職能研修会に参加して

12月5日茨城県看護研修センターにおいて、「助産師のための超音波」研修会に参加しました。昨今、助産師外来が取り上げられていますが、実際に超音波を行っている施設は稀です。超音波技術にも自信がなく、乳房管理や保健指導の域を超えるには高い壁を感じます。



今回の研修で、すでに妊婦健診の半分以上を助産師外来で行っている大草クリニックの田村師長の講義は、意識革命を起こさせるものでした。国際医療福祉大の金場先生や持田シーメンスの超音波についての基礎的なお話、午後の実際の超音波を使った実習は、とても理解しやすく、これからの現場での第一歩を後押ししてくれるものでした。たいへん有意義な、あっという間の研修会でした。

取手協同病院 佐藤 祐子



衛星通信研修

看護必要度評価者 院内指導者研修に参加して

取手北相馬保健医療センター医師会病院 飯塚 香

eラーニングの問題の数をこなしていくたびに、楽しさが増していく学習でした。

初めは、患者中心に考える傾向がありどうしても20点が取れませんでした。学習を重ねるうち、看護師対象を実感でき、満点が续くようになりました。

テストでは、スクリーンを観ながらのテストのため、筆記をしている間に、場面が変わってしまい、見落とす場面があり焦ることがありました。でも、とても楽しく学習できました。テスト終了後もeラーニングで学習しました。

取手北相馬保健医療センター医師会病院 川島 由利江

看護必要度とは、診療報酬のためにあるものだと思っていましたが、今回研修に参加して、看護を必要とする患者さんのためでもあるということが解りました。看護必要度の評価を取り入れることで、看護を必要としている患者さんを明らかにする事ができ、看護の質の評価ができることが解りました。

今後、忙しい業務の中に導入するにあたり、1つの評価ツールとして活用していくには、日々の学習と使用評価を行っていく必要があると感じました。

取手北相馬保健医療センター医師会病院 佐藤 妃智美

eラーニングでの自己学習を行い、全問正解するまでには時間がかかりましたが、やっていくうちに少しずつ楽しくなっていました。

試験会場では、水戸研修センターにて衛星放送で本会場の状況を同時に受けることができ、質疑応答もあり、とても画期的ですごくいいと感じました。

初めは、苦痛でしたが何事にも挑戦し努力することで、自分に返ってくるものは大きいものがあると実感しました。

認定看護管理者研修

ファーストレベル



～グループワークでの楽しさを実感して～
東京医科大学茨城医療センター
亀田亜希子

私は、主任に昇格して5年目となりますが、組織においてスタッフがより一層働きやすい環境を作るためにも管理の基本を学び、自分自身が行っている管理について見直すべきだと思ようになりました。当時、病棟師長や委員会活動でお世話になっている師長の勧めもあり、気がついたらファーストレベルの受講希望を申し出ていました。

講義で印象に残ったのはグループワークでした。特にグループワークで印象に残ったのは「組織における人間関係論」です。自分の看護キャリアについて紙面に記載し、グループで一人ずつ発表していくことをしました。看護キャリアにおいては、自分自身振り返る機会が今までなかったため、改めて振り返ることが出来、それにグループメンバーが共感を示してくれてとても嬉しかったことを覚えています。

レポートは当然ながらとても大変でした。課題から内容がずれないように、誤字脱字のないように何度も何度も読み返しては修正していました。特に最初に出た課題においては、文献を探すのに勤務終了後何度も大学の図書館に足を運びました。

今後は、組織においてスタッフの目標管理やストレスマネジメントについて研修での学びを活かし、実践していきたいと思います。



一印象に残った講義は一

飯島 佳代

私は心理学の講義がとても興味深く心に残りました。医療の現場における看護師の役割など、円滑な人間関係に活かすためのコミュニケーションや人間関係についてどのように接していく必要があるかなど、カウンセリングすることの重要性を感じました。講義の中で、受講者が自分の意のままに歩いたあと、一番近い人とペアを組み会話をするというを行いました。初対面の人と接する時に相手に不快感を与えずに会話をするためには、どのようなことを考慮して接することが必要であるか、自分自身の行動や態度などを考えさせられました。この気持ちを忘れずスタッフと接するときや、カウンセリングを行うときに活かしていきたいと思います。



～研修を振り返って～
東京医科大学茨城医療センター
柏崎 恵子

私は2009年4月に看護師長となり、看護を提供するための組織化、また、運営責任の一端を担うために必要な知識・技術を習得するために受講しました。様々な研修を受講し感じたことは、どれも看護サービスに結びつく内容であった事です。また、研修レポートは大変でしたが、色々な参考文献を検索し自分の考えだけでなく、他施設の方から様々な意見を聞くことや、講師の先生からご指導により自己研鑽することができました。今回の研修で、基本的な知識は勿論ですが、組織の役割や看護サービスなど管理に必要な様々な知識・技術を学ぶことができました。今後、学んだことを少しでも多く、病棟運営に活かせる様に努力していきたいと考えます。



研修を受けた動機

東京医科大学茨城医療センター
根本 幸代

ファーストレベル研修の話を聞いた時、今まで積極的にならなかった私が、この研修を受講していいものだろうかと思直悩みました。今、私に必要なのは、チャレンジする力・常に学んでいこうとする気持ちを持つことではないかと考えました。このような機会をもらえるなら、その学びを組織の中で活かしていく必要があり、自分の未熟さを少しでも成長させていきたいと思いました。また、現在の主任という責務を果たすためには、専門職としての基本的知識・技術・管理者としての役割を学び、自己能力の拡大を図る必要があると考え受講することにしました。今受講して思うことは、受講して、色々な人と出会い、本を山のように読んだことの新たな発見など、本当に良かったと素直に思います。今後も絶えず学び、知識を深めていく努力をしていきたいと思います。

セカンドレベル研修



富永 文子
水戸済生会総合病院

多くの講師の方々や他施設の方々と接することができ、知識・技術の幅が広がりとても良い研修でした。自分自身の考えや積極性を身に着け、今後の看護管理に生かしていきたい。皆さんとの出会いを大切に今後の励みにしていきます。



小原佳代子
友愛記念病院

常に問題意識を持ち続け自分の言葉で表現主張することの重要性を学びました。研修の学びがこれからの職場づくりに充分活用できるように頑張ります。



寅年 年男年女あつまれ



志村大宮病院
木村 聡美

子育て真っ最中で忙しい日々を送っていますが、今年はママさんバレーに挑戦しようかな！



土浦協同病院
高野 慎也

どんなに忙しい時も、思いやりの心を忘れず毎日笑顔で頑張ります！



取手協同病院
奥 慎治

ダイエット エコを考え お弁当を持参し8Kmの距離の通勤を自転車に？
出来ないことを目標に身近なことから努力しようと考えています。



取手北相馬保健医療
センター医師会病院
守屋 静子

今年の抱負は「変化のある年にする」です。
そのために、仕事もプライベートもたくさんのことに挑戦していきたいです。

鹿島労災病院

工藤由美子

自己の役割に責任感を持ち、患者や他のメンバーの状況も考え仕事をしていけるよう頑張りたいです。



鹿島労災病院

菅原さやか

患者様に信頼される看護師を目指し今年も日々学習と経験を積んでいきたいです。

そ よ か ぜ

私の専門 ～認定看護師～

不妊症看護

女性のライフサイクルに寄りそって

水戸済生会総合病院
長沼 順子



女性のライフサイクルにおいて妊娠、出産は危機的状況に陥りやすく、更に不妊治療後は多胎などのハイリスク妊娠となる場合もあり、大きな不安やストレスを伴います。また不妊の原因は概ね男女に半々であるとはいえ、そのプレッシャーは女性側に向けられています。不妊症看護について学びを深め、治療を受ける夫婦からその後の妊娠、出産、育児まで包括的に関わることのできる助産師になりたいと思いました。忙しい毎日ですが、患者さんからの手紙や言葉はうれしくやりがいがあります。しかし、認定看護師として施設内外で活動を行うようになり、不妊症に対する理解は充分ではないと感じることがあります。看護の質向上のためにも、一緒に活動できる仲間が増えることを願っています。

糖尿病看護

患者様の療養支援



龍ヶ崎済生会病院
羽場 かや乃

糖尿病の患者様が自主退院をしました。朝食を摂る習慣がなかった人に何とか食べてもらおうとした結果の出来事でした。どんな関わりが良かったのか自分は何ができたのか、もっと知識を深めたいと思い認定看護師になりました。患者様と同じ目線に向かって考え、寄り添いながら信頼関係を築けた時、患者様が退院を迎えた時に喜びとやりがいを感じます。常に自己研鑽をし、新しい情報を発信しながら活動することが求められています。5年毎の更新を目指すことは大変ですが、全国で活躍している仲間達と交流することで刺激や元気をもらっています。認定看護師になり、質の高い看護をお互い目指していきましょう。

私の職場

～地域に根ざした医療・看護の提供を目指して～

取手北相馬保健医療センター医師会病院 南4F 病棟 高橋 令恵

当院は病床数 215 床で 2006 年地域医療支援病院の承認を受けた病院です。私の勤務している療養病棟には、住みなれた地域や自宅に帰ることを励みにリハビリテーションを頑張っている患者さんがいます。患者・家族中心の看護・介護が展開できるように、他施設や他部署、他部門と連携を図り退院調整、援助を行っております。



バイオリンの音色にうっとり

病棟では、さまざまなレクリエーションが催されており、患者さんの楽しそうな表情をうかがえ、私達の看護の励みになっています。毎年恒例になっているクリスマス会ですが、昨年はバイオリニストを招待し、会場全体が素晴らしい演奏に目と耳をうばわれていました。そのあと、看護スタッフによるハンドベルを披露し、患者さんと一緒に歌いながら過ごしました。



入院により孤立しがちな生活に陥りやすい患者さんに“楽しい”という感情を生じさせ、心身のコンディションをよりよくできるように日々工夫しているところです。



口腔体操も毎食前に実施

～チーム力～

筑波大学附属病院 1101 病棟 看護師 長田真理子



混合の亜急性期病棟で、消化器外科・内科、歯科口腔外科の患者さまが入院されています。業務の特色としては、何といてもストーマケアである。日進月歩で変化する最新情報を、WOC ナース指導のもと、新人から経験者までが意識高く学び、ストーマリハビリテーションへの参加、発表を行ってきた。

また、昨年度から導入された電子カルテや、2交替制・7対1看護体制の開始時も、安全を守りつつ業務改善をしていくことは大変な作業であった。現在も新師長のもと「1人1人が改善者」という心構えで、新人を迎える4月までに・・・

と夜勤業務の見直し中である。

私も勤務年数 10 年を超え、子育てと仕事のバランスを崩しそうになることもあるが、これからも皆でモチベーションを保ち支え合い、患者さまを第1に考えた看護の提供をしていけるように頑張っていこうと思う。



私の楽しみ！！

志村大宮病院 後藤 隆



夏はバーベキュー、冬はスノーボード、アウトドアが私の楽しみ。

今がまさにスノーボードの旬である。12月に今シーズン初滑りに行ってきたが、初滑りでパウダースノーに恵まれたのは初めて。今回、フロントフリップという技に挑戦したが見事に失敗。頭から雪に刺さったが怪我はなし。

以前は年に15回前後滑りに行っていたが、結婚し子供ができ、今は年に3回程度。その少ないなかでスノーボードを満喫したい。

子供は3月で2歳、6月には第2子誕生予定で、まだ一緒に滑りに行くことはできないが、一緒に滑りに行く日を心待ちにしている。アウトドア以外の楽しみは、子供の成長だ。



トライアスロンに挑戦

鹿島労災病院 加瀬 恵美



地元から離れ鹿島労災病院に勤務して6年が経ちます。元々運動することが好きだったので、近所のプールに通い始めて友達が出来ました。病院のある神栖市や隣の千葉県銚子市では、毎年トライアスロン大会が開催されています。友達から誘われて練習会に何となく参加してみたらとても楽しく、趣味が同じ友達が増えたことが嬉しかったのがきっかけで「自分もトライアスロンに挑戦してみたい」と思い、2007年に念願のデビュー。

休日にみんなで自転車やランニングをしたり、夏には海を泳いだりし、仕事と休日のスイッチの切り替えにもなりとても充実しています。シーズン中には家族や友達とトライアスロン大会に参加。なんと言っても各地の温泉や特産品が楽しみで、いつも旅行気分大会に参加しています。



選挙管理委員会からのお知らせ

★平成 22 年度日本看護協会通常総会代議員信任投票結果

平成 22 年 3 月 26 日の開票の結果、投票総数 9,269 票（90.2%）のうち有効投票数 8,945 票により代議員は次のとおりです。

氏 名	得票数
村田 昌子	8630
鈴木 君江	8591
宮本 康子	8617
太布 和子	8563
青山 千代子	8594
森田 正子	8611
中島 博子	8621
横田 すい子	8623
小角 和子	8555
江幡 恵子	8611
江幡 芳枝	8612
高野 洋子	8615
相川 三保子	8639
原田 良子	8626
金子 美智子	8624
深澤 伸子	8611
佐瀬 悦子	8559
野口 美恵子	8640
白川 洋子	8634
野口 敬子	8623

氏 名	得票数
永野 正子	8617
吉田 公代	8595
柏崎 朋子	8610
紺野 喜代子	8578
海老澤 マチ子	8571
小室 万左子	8555
梅根 あぐる	8582
石井 泰子	8579
小関 道代	8580
鈴木 恵子	8559
関山 智恵	8564
後藤 みよ	8571
岡 直子	8568
本間 満子	8578
長妻 愛子	8571
倉益 直子	8574
寺田 みえ子	8568
菅谷 周子	8574
須藤 礼子	8580
深澤 千映子	8568

氏 名	得票数
黒澤 幸子	8573
小松 誠	8549
飯田 愛	8549
小林 弘美	8587
成嶋 のり子	8582
倉持 トモ	8556
菊池 妙子	8594
中島 典子	8604
入江 千恵子	8628
酒巻 純子	8591
飯塚 真弓	8600

予備代議員

氏 名	得票数
柏 利子	7946
三浦 由貴子	8557
三原 千代美	8542
吉田 悦子	8461
高橋 栄子	8547
福士 久枝	8551

●第 46 回いばらき看護の祭典

日時

平成 22 年 5 月 23 日（日）
11：30 開場

場所

県立県民文化センター
大ホール

●平成 22 年度茨城県看護協会 通常総会並びに職能集会

日時

平成 22 年 6 月 26 日（土）
9：30 開会

場所

県立県民文化センター
小ホール他

●第 41 回日本看護学会 －母性看護－学術集会

日時

平成 22 年 7 月 29 日（木）
7 月 30 日（金）

場所

つくば国際会議場
大ホール他



今年度はこのメンバーで活動しています。

委員一同、皆様の意見を取り入れ魅力ある紙面づくりをしていきたいと考えております。

ご意見・ご要望など看護協会ホームページにお送りください。
お待ちしております。

（広報委員 人見一美）

